



真岡市立中村小学校だより

みどり野

No. 4

令和2年9月30日

学校経営理念 「私たちは、子どもたちが自立し、協働して社会に貢献できる人間になるための基盤を育成します。」
学校教育目標 1 めあてをもって勉強する子 2 なかよくたすけあう子 3 じょうぶでがんばる子

修学旅行を振り返る

9月1・2日は修学旅行でした。新型コロナウイルス感染症の脅威が収束していない中、実施に至るまでは様々な葛藤と決断の連続でした。他地区では修学旅行を中止にする学校も少なくありません。それでも、担任や子供たちは小学校で最高の思い出の一つとなる修学旅行は、どんな形でも実施したいという熱い思いがありました。そこで、安全にそして確実にを行うために、6学年委員さんや旅行会社等と何度も打合せをし、保護者の理解を得て実施できました。

今年度は「栃木の魅力再発見の旅」として県内の魅力ある場所を中心に計画を立てました。出発の際、校長として「保護者や多くの方々に準備していただいたこの機会に感謝して、しっかり



楽しんでこよう。」とだけ話しました。6年生は全員に他を思いやる優しさが十分備わっており、日頃の学校生活でそれが実践されているからです。

1日目は、足尾銅山観光見学、日光江戸村班別自由行動、塩原木の葉化石園での発掘体験をして、那須ロイヤルホテルに宿泊

しました。2日目は、九尾の狐伝説の殺生石見学、那須ハイランドパーク班別自由行動、最後に大谷資料館採掘場跡を見学して帰校しました。全員疲れ切った中にも充足感に満ちあふれた表情で、家路につくことができました。学校では、「行事をとおして子供たちを育てる」ことを目指しています。旅行中6年生一人一人が、今何をすべきかを考えて動く姿に、自立心や協働の心が十分に育っていることを感じることができました。

帰校後も、子供たちは健康に留意しながら元気に学校生活を送り、10月31日の運動会に向けて、目を輝かせて準備に取り組んでいます。



楽しかった修学旅行

例年ならば東京・鎌倉方面の修学旅行でしたが、新型コロナウイルス感染予防を念頭に、県内のコースで実施しました。コースは栃木再発見の旅となりました。その一コマを掲載いたします。
 <9月1日>



出発式
 元気よく出発です。



足尾銅山見学
 トロッコ電車に乗り坑道見学。昔の人はすごいと感じました。



日光江戸村
 楽しみにしていた昼食その後は、江戸の街を満喫しました。



塩原化石園
 「地層」の学習の応用編です
 <9月2日>

那須ロイヤルホテル宿泊
 一番の思い出はホテルでの生活でした。



殺生石見学
 硫黄の臭いにびっくり。

那須ハイランドパーク
 グループで園内を探索。いろいろな乗り物に乗りました。



昼食の様子です。

大谷資料館
 地下空洞に驚き

帰校式
 元気に「ただいま」